

平成18年度 広島国道事務所事業概要

1. 平成18年度事業費

広島国道事務所においては、活力ある広島都市圏の再構築と地域社会の連携と再生を支える道づくりを進めていきます。

費 目	H18年度当初事業費 実施計画額（百万円）	H17年度当初事業費 実施計画額（百万円）	伸び率 (H18/H17)
道路事業費	29,169	26,811	1.09

百万円未満の端数は四捨五入しています。

2. 平成18年度事業概要（トピックス）

広島都市圏をの経済活力を支えるみちづくりを進めます

- 一般国道2号 東広島バイパス (事業促進)
- 一般国道2号 安芸バイパス (事業促進)
- 一般国道2号 広島南道路 (事業促進)
- 吉島地区工事促進 P 2
- 一般国道2号 西条バイパス (事業促進)
- 一般国道2号 西広島バイパス (事業促進)
- 廿日市高架橋工事促進 P 3
- 一般国道54号 佐東拡幅 (事業促進)
- 部分開通予定（古川土地区画整理事業内） P 4
- 一般国道185号 安芸津バイパス (事業促進)
- 三津地区本格的工事開始 P 5
- 一般国道375号 東広島・呉自動車道 (事業促進)
- 東広島地区の工事促進 P 6

安全で安心できる暮らしを目指した道づくりを進めます

- 交通安全対策の推進
- 一般国道2号 広島市西区田方1丁目 付加車線整備 P 7
- 大規模地震に対する震災対策の推進
- 『緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム』の対策の推進 P 8
- 災害に強いみちづくりの推進
- 一般国道2号 舟入地区 電線類地中化事業の新規着手 P 9

安全で快適な道づくりを進めます

- 人にやさしいまちづくりの推進
- 一般国道54号 可部駅西口駅前 交通結節点改善事業 P 10

環境改善を目指した道づくりを進めます

- 沿道環境の改善
- 一般国道2号 西広島バイパス 高須地区遮音壁設置 P 11

一般国道 2 号 広島南道路

よし しま 吉島地区工事促進

広島南道路は、道路交通の円滑化、都市機能の向上を図ること等を目的に計画された、延長 14.8 km の道路であり地域高規格道路「東広島廿日市道路」の一部を構成する道路です。

街路部（直轄施工）の整備については、広島高速 3 号線と一体的に機能するために必要な区間から、優先的に整備することとしており、

平成 18 年度は、元安川橋のうち、元貯木場（現在マリーナ事業中）の下部工事に着手します。



期待される整備効果

● 渋滞緩和及び時間短縮

・広島都市圏の慢性的な交通混雑の緩和が期待されます。

● 地域間の連携強化

・広島デルタ南部の臨海部と周辺諸都市を直結することで地域間の交流が促進され、地域経済・産業・文化の発展が期待されます。

一般国道2号 西広島バイパス

はつかいち 廿日市高架橋工事促進

廿日市高架橋は、一般国道2号西広島バイパスの主要渋滞ポイントである速谷・宮内交差点及び上平良交差点をまたぐ延長2.2km(高架橋1.4km)の高架事業です。

平成15年度に工事着手し、平成17年度までに本線部の橋台1基(全2基)、橋脚29基(全29基)が完成したところです。

平成18年度は、高架橋から廿日市インターチェンジへアクセスするランプ橋の下部工事等に着手するとともに、起点部分から高架橋上部工に着手します。

廿日市高架橋工事現況



高架橋完成イメージ



【期待される整備効果】

- 国道2号の通過時間、交差点から進入する車の待ち時間が大幅に減少します。
- 交通の円滑化が図られ、低騒音舗装の実施などにより沿道環境の改善が期待されます。
- 渋滞車両への追突事故、交差点における右折直進車事故等の交通事故の減少が期待されます。

一般国道54号 佐東拡幅

部分開通予定(古川土地区画整理事業内)

佐藤拡幅は、一般国道54号の交通混雑の緩和及び交通安全の確保を目的とした、広島市安佐南区緑井一丁目から広島市安佐南区八木五丁目至る延長約2.5kmの道路です。

現在、改良、橋梁工事を促進しており、平成18年度中に古川土地区画整理事業内の1.8kmのうち1.2kmが開通する予定です(0.6kmが供用済み)。

この開通により、当地区の交通渋滞の緩和が図られるとともに、地域の活性化・産業活動の効率化に寄与されることが期待されます。

位置図



事業箇所

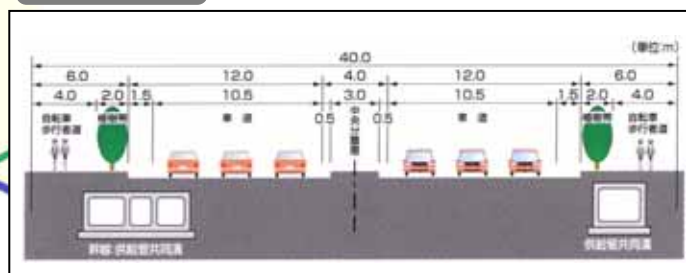


渋滞状況



▲国道54号城南中学校校入口交差点より可部方面を望む

標準横断面図



期待される整備効果

【現状】

- 区画整理事業の進展に伴う交通量の増大
- 当地区に立地する大型店舗に集中する交通に伴う慢性的な交通渋滞

【開通後】

- 6車線化によるモビリティの確保

→ 交通混雑の緩和

- 周辺開発にあわせた都市機能の高度化

→ 地域の活性化・産業の効率化に寄与

交通混雑の緩和

整備前



整備後



6車線化により交通渋滞の緩和

地域の活性化・産業活動の効率化



【緑井駅周辺地区市街地再開発事業】

一般国道185号 安芸津バイパス

三津地区 本格的工事開始

一般国道185号の東広島市安芸津町内では、道路幅員の狭い箇所やカーブのきつい箇所が存在し、交通処理上対策が必要となっています。また、歩道未整備区間もあり、歩行者等にとっては非常に危険な状況にあります。さらに、(主)安芸津下三永線と交差する榊山交差点では渋滞が発生しており、早急な対策が必要となっています。安芸津バイパスは、これらの課題を解消するため計画された延長6.1kmのバイパスです。平成18年度は、関連事業である(市)上条浜田線と調整を図りながら、10-1工区(三津地区)について工事用進入路の工事を行い、三津大川橋、実近トンネル等の工事着手に向けた準備を行います。



三津地区完成予想図(暫定形)

県道より東側を望む

●現国道185号の状況(10-1工区並行区間)

主要渋滞ポイント、老朽橋が存在し、線形不良や歩道が無いなど交通安全面で問題が多い



主要渋滞ポイント
榊山交差点



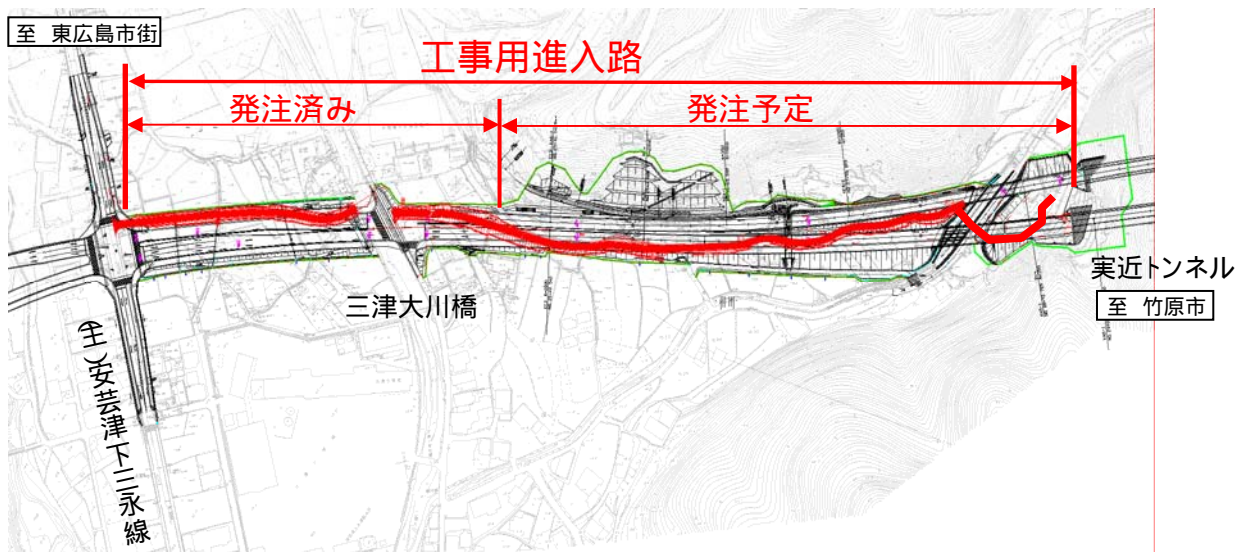
カーブのきつい箇所



歩道の未整備状況



平成18年度工事概要:三津地区の工事用進入路の工事等を行います。



一般国道375号 東広島・呉自動車道

東広島地区の工事促進

東広島・呉自動車道は、呉市から山陽自動車道へのアクセス強化を図ることを目的として計画された、延長32.8kmの一般国道の自動車専用道路です。平成5年度に事業着手し、用地買収を促進するとともに東広島JCTから馬木IC間及び郷原ICから阿賀IC間の工事を促進しているところです。

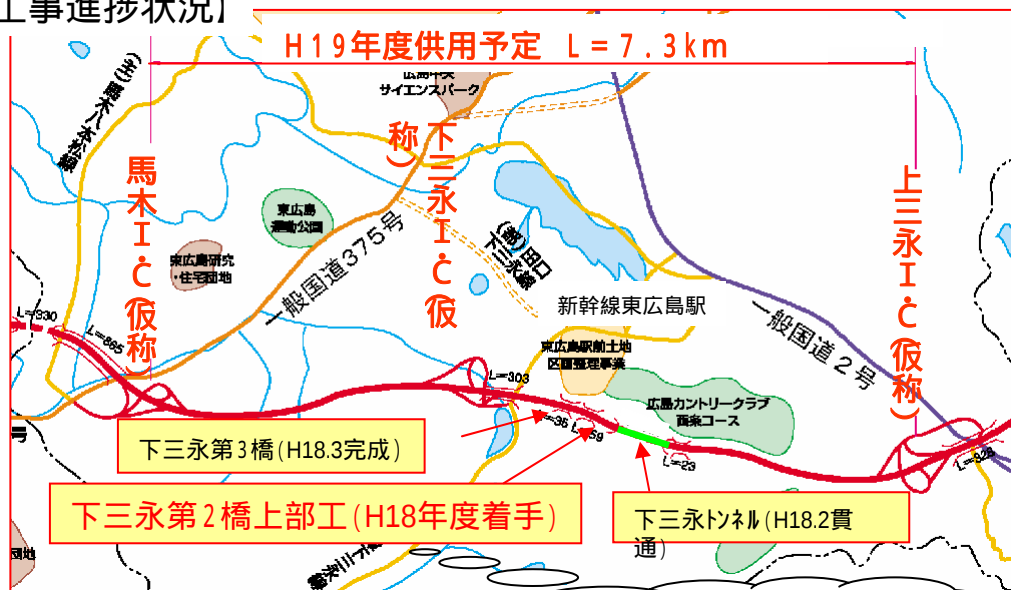
平成18年度は、用地買収及び改良・橋梁・舗装工事を促進することとしています。

平成19年度の部分（暫定）供用に向けて（上三永IC（仮称）～馬木IC（仮称））



下三永第2橋を呉側からのぞむ

【工事進捗状況】

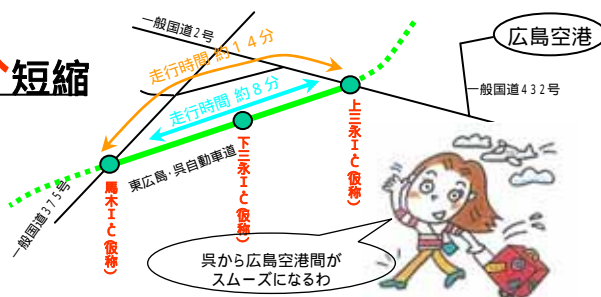


下三永第2橋完成時には当該区間の主要構造物工事は完了

【期待される整備効果】

近くなる 呉市～広島空港が**6分短縮**

呉市～広島空港は、これまでの一般国道375号利用から、今回、一部供用する東広島・呉自動車道を利用することにより、走行時間短縮、安全性が向上します。



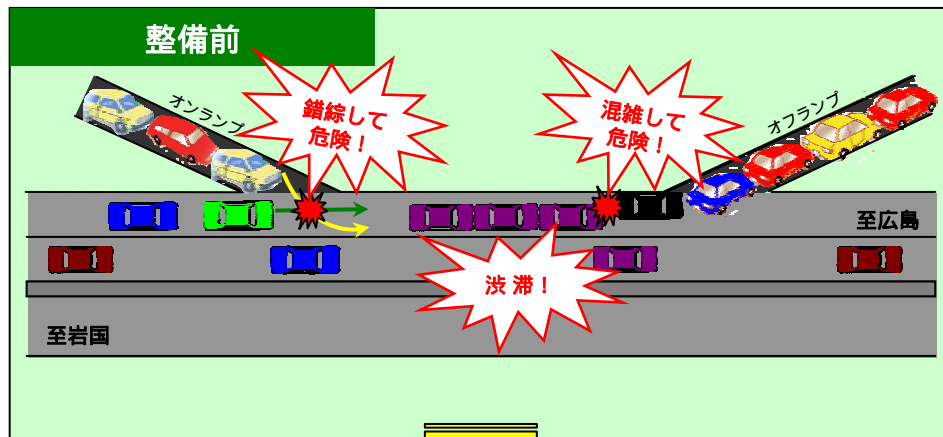
交通安全対策の推進

一般国道2号 広島市西区田方1丁目 付加車線整備

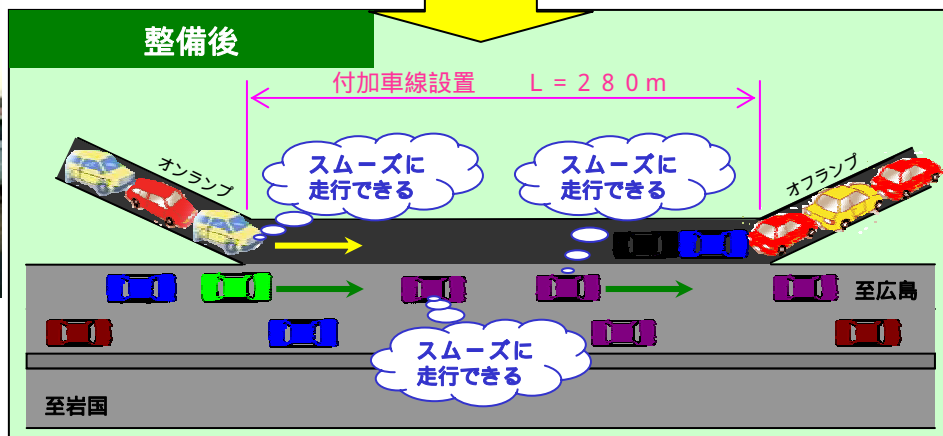
一般国道2号は、大阪市を起点とし広島市を経由して北九州市に至る、近畿から九州までを結ぶ主要幹線道路です。

当該箇所は、広島市西部に位置する自動車専用道路「西広島バイパス」の田方ランプ～商工センターランプ区間であり、約9万台/日と朝夕を通して交通量が多く、ピーク時にはオフランプの車両が本線へはみだすほどになり、本線の通行を阻害して渋滞を招いている状況にあります。また、現在はランプ間を通り過ぎるだけの交通も本線へ一度入る必要があるため、本線車両とランプ間の通過車両が錯綜して事故危険性が高く、広島県平均死傷事故率の4倍を越えている状況で、早急な事故対策が必要な箇所となっています。

このため、現状の路肩と中央分離帯を有効活用することで、ランプ側へ付加車線の設置を行い、交通の錯綜を無くすことにより、安全で円滑な交通を促進して、渋滞の解消・交通事故の減少を図るものです。



現在の通行状況



期待される整備効果

交通渋滞の改善

・付加車線設置により、本線車両の通行がスムーズになり、通過時間が短くなることが期待されます。

交通事故の軽減

・ランプと本線との錯綜が減少することにより、車両追突等の交通事故の減少が期待されます。

沿道環境の改善

・交通の円滑化が図られ、沿道環境の改善が期待されます。

大規模地震に対する震災対策の推進

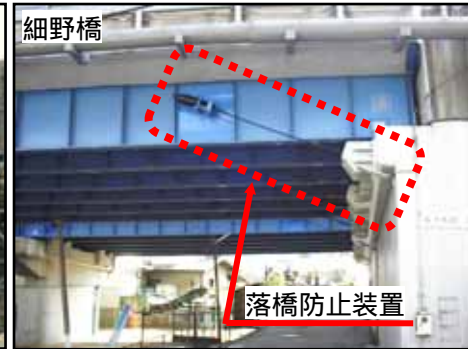
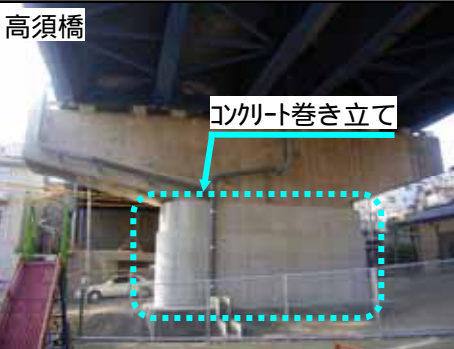
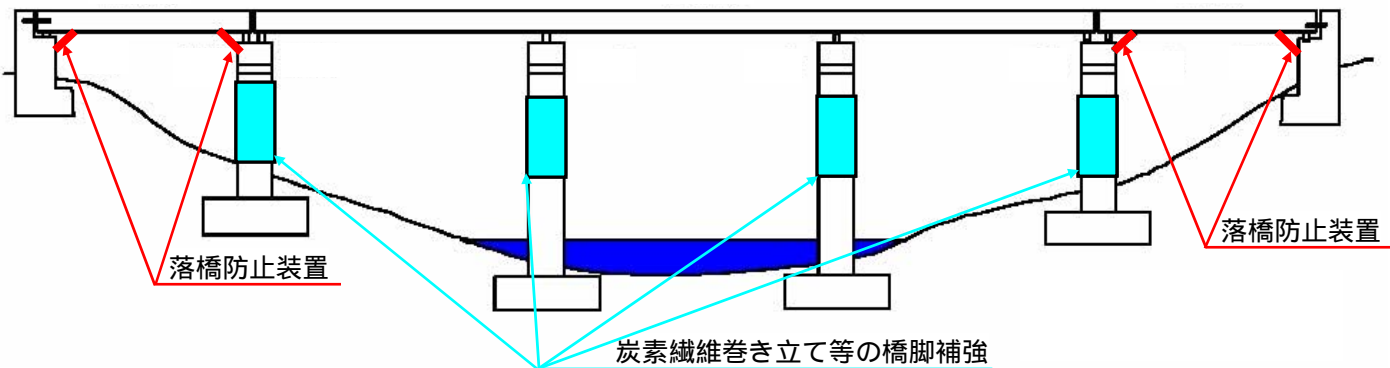
『緊急輸送道路の橋梁耐震補強3箇年プログラム』 の対策の推進

緊急輸送道路は、大規模地震時における救助・救援活動や緊急物資輸送のために極めて重要な役割を担っており、大規模地震時に緊急輸送道路がその機能を発揮するためには、橋梁の倒壊や落橋を防止するための耐震補強を行っておくことが必要です。

このため、緊急輸送道路の橋梁の耐震補強については、古い基準を適用した橋梁等で、特に優先的に耐震補強を実施する必要がある橋梁について、平成17年度より重点的に整備を推進しています。

平成18年度は、国道2号『平野橋』、国道54号『霧切谷橋』等の橋梁につきまして耐震補強工事を着手することとしています。

●耐震補強イメージ図



【平成17年度の整備状況】

『国道54号 新太田川橋』において耐震補強（炭素繊維巻き立て）を実施しました。

（炭素繊維シートを用いた工法は中国地方初導入）

この他に『国道2号 高須橋』『国道54号 細野橋』等の工事が完了し、『国道54号 祇園大橋、安大橋』等の耐震補強工事に着手しています。

緊急輸送道路の橋梁耐震補強の取組み状況を分かりやすくお知らせするため、直轄国道と都道府県管理道路の緊急輸送道路の橋梁耐震補強について、現況（平成16年度末時点）及び平成19年度末時点の進捗見込みについて、地図（マップ）に表記して、インターネットのホームページ上に公表することにしました。なお、掲載したマップは、今後、橋梁の耐震補強の進捗状況を踏まえて、定期的に更新していくこととしています。

《ホームページアドレス》 <http://www.mlit.go.jp/road/bosai/taisin/taisin.html>

災害に強いみちづくりの推進

一般国道2号舟入地区 電線類地中化事業の新規着手

広島国道事務所では、平成18年度より舟入地区の電線類地中化事業に新規着手します。

電線類地中化事業は、地上に設置されている電線類（電柱・電線）を道路の地下に収容するものです。台風・地震などの大きな災害時には、道路上の電柱倒壊やこれによる電線切断で、電力・通信サービスの供給がストップしたり、緊急車両や物資輸送の交通にも支障が生じる場合があります。一般国道2号の電線共同溝も「都市災害の防止」の観点で整備していくものです。

さらに地中化事業は、広島市のような都市部で見られる電柱・電線の輻輳によって景観や歩道空間が阻害されている状況を改善し、様々な業務機能が集積して諸外国からも多くの旅行者が訪れる、国際平和都市にふさわしい風格のあるまちづくりを支援していくものです。



期待される整備効果

「都市災害の防止」

「安全で快適な通行区間の確保」

「都市景観の向上」

「情報通信ネットワーク信頼性の確保」

整備前

電線や通信線を地中化することで、電柱を無くすことができます。



整備後

【イメージ】



すっきりして、災害時の倒壊やたれ下がりの心配がなくなります。

人にやさしいまちづくりの推進

一般国道54号 可部駅西口駅前 交通結節点改善事業

J R 可部駅は、約7千人/日の乗降客が利用する広島市北部の主要駅です。一方国道54号を経由する路線バスは上下線合わせ約700便となっています。

J R 可部線は平成15年11月30日に可部駅以北が廃線となり、バスの乗り換え需要が高まる中、駅前広場が未整備で、バス停留所は平均260mと離れるなど、鉄道との乗継ぎが不便な状況となっています。

このため、中国地方整備局と広島市が連携し、平成18年度の完了（駐輪場を除く）を目途に平成16年度より国道と駅前広場の一体的整備に着手しています。

なお、整備にあたっては、地元まちづくりの会等と連携するとともに、ユニバーサルデザインに配慮した施設整備を進めることとしています。



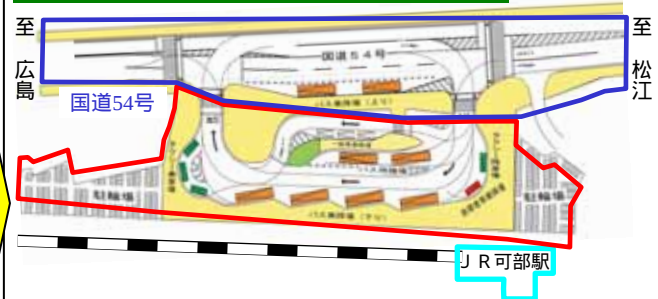
現在の可部駅前バス停状況

現在の可部駅利用状況

整備前：可部駅周辺



整備後：国道54号と駅前広場



整備概要

右折専用車線	1 車線	タクシー乗降場	2 箇所
駅前広場面積	3,600㎡	一般送迎用乗降場	1 箇所
バス乗降場	6 箇所	身障者用乗降場	1 箇所

期待される整備効果

交通結節機能の改善

・バス乗降場等の整備により、鉄道とバス等の乗り継ぎ利便性・安全性が向上されます。

乗り継ぎ距離の短縮 鉄道⇔バス（整備前：平均260m→整備後：平均60m）

約200m短縮
(約4分短縮)

交通の円滑化

・バス乗降場を駅前広場内に移設することにより、一般国道54号の交通の円滑化が図られます。

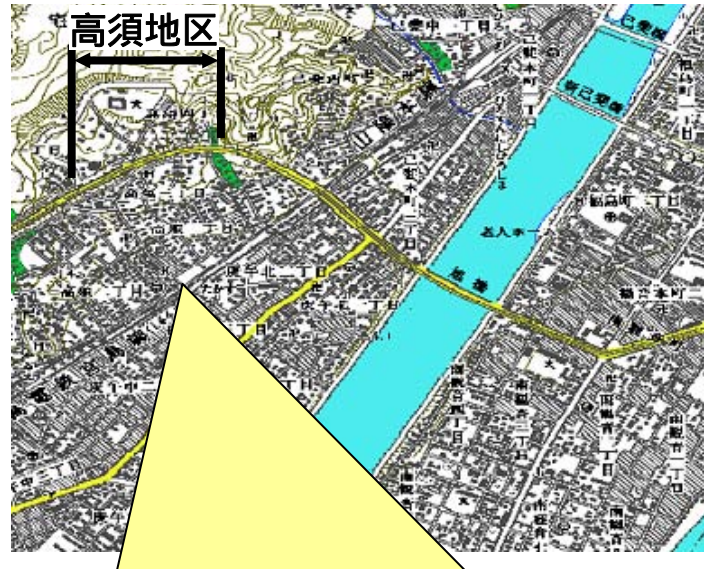
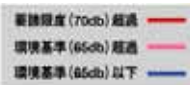
沿道環境の改善

一般国道2号西広島バイパス^{にしひろしま} 遮音壁設置

広島国道事務所管内の騒音の現状は、夜間要請限度（70dB）を越える区間が約5割であり、沿道騒音の改善を早急に行う必要がある状況です。沿道環境対策については、今後も関係機関との連携を図りつつ総合的・計画的に沿道環境改善に向けた道路構造対策等を進め、道路交通による騒音等の改善に努めます。

平成18年度においては一般国道2号西広島バイパス高須地区等において遮音壁の整備を進めるとともに、夜間要請限度を超える地区等において、低騒音舗装の整備を進めていきます。

● 広島都市圏における騒音の現状



【資料：平成14年度環境センサスデータ】

注：環境センサスとは官民境界の高さ1.2mで測定しており、沿線に中高層マンション等がある場合は、環境基準超過となる場合もあります。

一般国道2号 西広島バイパス遮音壁(高須地区)の設置状況



平成16年3月
(施工前)



平成17年3月



平成18年夏季予定
(完成イメージ)